

# 関東ふれあいの道埼玉県①水源のみち

日時：2018年10月20日（土） 天候：晴 歩数22000歩

集合：西武線飯能駅9時

コース：飯能駅→バス（9時25分発）→さわらびの湯→有間ダム→白谷沢登山口→白孔雀の滝（踏破チェックポイント）→岩茸石→ゴンジリ峠→棒ノ嶺（棒ノ折山969m）→上日向バス停（バス）→JR川井駅解散

参加者：平石（L）小田（SL） 勅使河原 吉越 熊坂 河野 清水正 伊藤美 栗田 市村 高橋紀  
中村ゆ 丹後 畠 鈴木 15人

関東ふれあいの道埼玉県2回目は、当初6月24日に予定されていました「①水源のみち」です。平石リーダーの「本来のコースは川井駅が入山でしたが、白谷沢を下ると手ごわいので逆コースに変更」との呼びかけにあるように、コース&日程変更しての開催となりました。

集合は西武線飯能駅9時、参加者は15人。バスでさわらびの湯バス停下車、有間ダムから白谷沢登山口に入り、急峻な白谷沢を上り、踏破チェックポイントの白孔雀の滝で集合写真。少し上って昼食をとり、岩茸石から急登を上り標高893mのゴンジリ峠、さらに標高969mの棒ノ嶺へ。下山はアクシデントがありましたが、全員無事にJR川井駅に着きました。



## 西武線飯能駅～さわらびの湯バス停～有間ダム

レポーターは、東急横浜駅6時55分発の副都心線Fライナー飯能行きに乗車、飯能駅に着いたのは8時26分。駅構内には「第48回飯能まつり11月3日・4日」の看板が出ていました。吉越会長の誘導で北口へ移動、2番線「さわらびの湯経由湯の沢行き」バス停に並びます。9時25分定刻に発車、バスの後部座席は神奈川ウォーキングクラブの貸し切り状態。バスは街中を出て入間川沿いを走り、10時08分さわらびの湯バス停到着。

平石リーダーのコース説明を受けます、サブリーダーは小田さん。10時25分、スタートです。アスファルト道を少し上り、名栗湖の水を溜めている有間ダムの堤を歩き、駐車場の脇で河野さんによるストレッチ。



## 有間ダム～白谷沢登山口～11時30分最初の白谷沢渡り

10時55分、白谷沢登山口に入ります。関東ふれあいの道の標識石柱を右に見て、一列縦隊で杉林の道を上ります。カジカガエルの生息地のようで説明版に「四国、九州、本州の山地の河川に生息し、6～7月頃に雄だけがひじょうに美しい声で鳴きます」と書かれています。杉の木の根元に「山の神」と書かれた小さな祠がありました。

「落石事故が発生、通行注意」のお知らせが案内標識に掛けられています。左手に沢を見ながらの上り道、勾配が少しずつつきつくなります。11時30分最初の沢渡り場所です、順番に慎重に渡ります。



## 「水源のみち」最大の難関、白谷沢の沢登り&沢渡り

「水源のみち」最大の難関、白谷沢の沢登り&沢渡りの始まりです。沢渡りは慎重の上にも慎重を、後続組も先行者の足場の確保場所などを見つめています。最後尾は吉越会長と小田サブリーダー、全体の安全を確認しながら上がってきます。それにしてもこの高低差は凄いです、2人の姿が小さく見えます。

水が激しく流れ落ちる横の巨岩の上を歩きます。沢全体を水が流れているところは足場を確保しようにも石の上は滑ります、むしろ水の中を歩く方が安全かと思われます。沢登りを無事乗り切りましたが、傾斜45度はあるかという階段が待ち受けていました。下から見上げる勅使河原さんはどのような表情だったのでしょうか。



## 踏破チェックポイントの「白孔雀の滝」～昼食タイム～林道へ

石段を鎖につかまり上ります。12時丁度、石段を上りきりました。最初の沢渡りから30分かけて「難関場所」を抜けました。抜けたところに踏破チェックポイントの「白孔雀の滝」が待っていました。標識をはさんで集合写真、レポーターも1枚撮っていただきました。

ここは、白谷沢のまだ中間地点で半分ほどの250mぐらいしか上っていません。上りが続きます。12時25分昼食タイム、みなさん早い時間の朝食でしたので美味しそうに食べています。力をつけて午後からの上りです。木段を上ります、歩幅が合わないとなかなか辛いです。ようやく「林道に出ます」の標識が出てきました。



## 12時54分林道～迂回路～13時18分岩茸石（ロス20分）

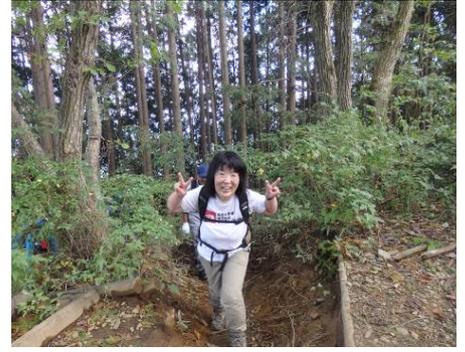
12時54分、林道に出ました。岩茸石への直登ルートは「崩落箇所あり通行止め」の掲示が出ていました。この情報はスタート前に小田サブリーダーから知らされていたので、迷わずに迂回路の林道を歩きます。13時06分、上り道に入ります。13時18分、岩茸石に着きました。林道に出てからの所要時間24分、迂回によるロスタイムは最大にみて20分、小田さん情報による想定内のロスタイムで済みました。

ゴンジリ石の横を通り、反対側に出ました。直登ルートには、当然のことですが「通行止め」の掲示がされていました。ゴンジリ峠への上り道、下りてくる多くの登山者とすれ違います。急登がはじまります。



## 2016年6月11日以来のゴンジリ峠（標高893m）

急登を上り13時45分、2016年6月11日の「関東ふれあいの道山草のみち」以来のゴンジリ峠へ。前回に続き今回も峠に来た人は10人（勅使河原、河野、清水、伊藤、栗田、市村、高橋、中村、丹後、小田）。



## ゴンジリ峠～棒ノ嶺（標高969m）～下山～引き返し～棒ノ嶺

ゴンジリ峠で水分補給などゆっくりして14時03分スタート。尾根道を上り14時18分、この日の最高峰、標高969mの棒ノ嶺山頂へ到着。青空に白い雲のコントラストがきれいです。山頂の案内図には、北の方向に日光白根山や男体山、東の方向に川越市街や新宿副都心が描かれています。雄大な景色を眺めながら「山草のみのときはこの景色を見ながらの昼食だったね」などと話が弾みます。

集合写真を1枚、みなさん達成感に溢れた笑顔です。14時26分下山開始です。しばらく歩いてもなかなか急峻な下りになりません。「山草の道のときは急登を上ってきた、何か変」「道間違えてない」などの声が出てきます。それどころか緩やかですが上りになりました。「落合」方向を指し示す案内標識を過ぎ、14時45分に先頭が引き返してきました。15時05分再びの棒ノ嶺です。さすがの健脚組も東屋などで一休み。地図を確認すると、歩いていた道は西方向へ向かう長沢背稜縦走路、「落合」は途中から北方向へ向かい名栗湖の上流です。

山頂には「百軒茶屋・上日向」の標識がありました。道間違いしました。

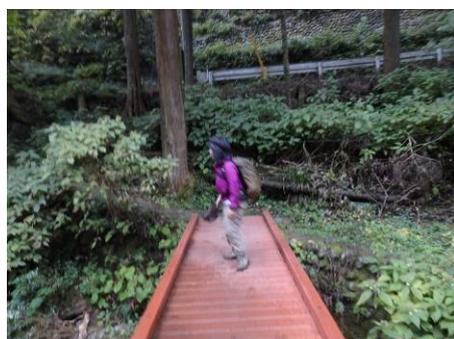
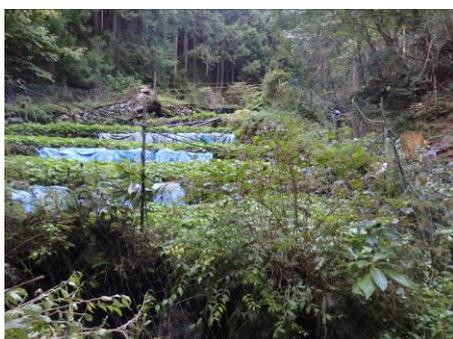
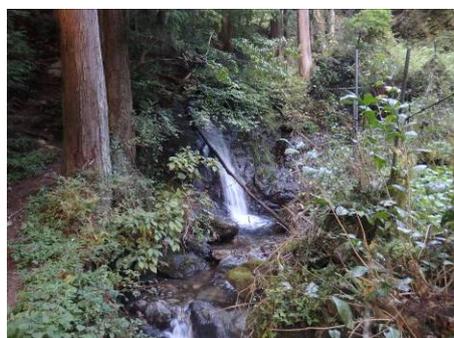


## 棒ノ嶺～杉林の急峻な下り～沢沿いの下り～1時間33分かけて林道へ

15時07分、下山開始。41分のタイムロスです。山頂直下、杉林の急峻な下りです。この道です、間違いありません、「百軒茶屋」方向を指し示す標識も出てきました。急峻なまっすぐな下りは膝に負担がかかります。平石リーダーが、足がつり遅れだしました。芍薬甘草湯を飲んでもらい、食料の補給もしてもらいました。日没が迫っているので勅使河原さんに同行を依頼して、他の人は林道まで先行して下りることにしました。

沢に出ました。ここからは足場が濡れていて滑りやすい急峻な下りです。水の音を聞きながらの下り、小さな滝が何ヵ所もあり、山葵田を横に見ながら下ります。木橋の上では何人かが滑っています、慎重に渡ります。

16時40分、大丹波林道に出ました、山頂から1時間33分かけての下山でした。ここでトイレ&クールダウンを済ませて後方の到着を待ちます。あたりは大分暗くなりました。平石リーダーと付き添いの勅使河原さんを待つ組と先行してバス停に歩く組に分けることにしました。河野さんと畠さんがここで後方を待つことにして、16時55分、残りの11人はバス停に向けて歩きだしました。



## 清東橋バス停～26分遅れの上日向バス停～月見ナイトウォーキング

6分歩いて17時01分清東橋バス停へ、この路線の最終地点です。何度見ても最終バスは16時50分発の川井駅き、11分遅れでした。

当初乗車予定の上日向バス停へむかいます。どんどん暗くなります。前方に月を見てのウォーキングです。時間は17時18分、あっという間に暗くなりました。川井駅まで3・3kmの標識を見て、17時20分に上日向バス停着。当初乗車予定の16時54分発のバスに26分遅れでした。バスはあと2本、18時05分発と18時46分発があります。まず、今日のコースの歩数22000歩を確認、小田サブリーダーや吉越会長らが相談して、3km余先の川井駅まで歩く組と後続の4人を待って18時05分のバスに乗る組(吉越、伊藤、鈴木さん)に分けました。先行組の5人(熊坂、清水、高橋、丹後、小田さん)が何とも早い、まるで川井駅17時58分発の電車に間に合わせるような速さです。こちら3人(栗田、市村、中村さん)は、おしゃべりしながらの月見ナイトウォーキングとしゃれこみました。



## 「長〜い 長〜い」水源のみち 締めは「カワイー顔してください〜」

3人は18時05分に川井駅到着、川井駅の駅名版の前で踏破記念写真。先行組の5人は、5分ぐらい前には到着したようですが、17時58分発の上り電車には間に合わなかったようで、待合室でティータイム中。しばしコース振り返りの話になりました。そうこうしているうちに上日向バス停18時05分のバスに乗った後続の7人（勅使河原、吉越、平石、河野、伊藤、畠、鈴木さん）も到着。棒ノ嶺下山開始以来、約3時間ぶりに15人全員が事故なく顔を合わせることができました。

「カワイー（川井）顔してください〜」の集合写真を撮って、18時28分発の上り電車に乗り込みました。「長〜い 長〜い」水源のみちでした。お疲れさま。

喉の渇きと空腹に耐えかねた6人の「剛のもの」が立川駅下車でアフターに・・・

（いちむら記）

